

【推進体制】

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・省エネ法に基づくエネルギー管理体制のもと、エネルギー使用状況を確認している ・デマンド電力の監視により、デマンド電力を抑制している |
|---|

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

| 工場等の名称 | 実施した措置及び今後の取組の内容 |
|-----------------------|--|
| 東岡山工場、藤田工場、妹尾工場、東岡山工場 | (令和5年度実施分) デマンドコントロールにより電力の使用量を抑制している |
| 全社 | (今後実施予定分) ボイラー設備のガス化 設備更新（老朽化設備更新、効率化機械の導入検討） OA機器の節電とこまめな消灯の再徹底 業務の効率化、残業削減の取り組みの推進による消費電力の削減 |

【森林保全等吸収源対策への取組】

| | | |
|--------|---|--|
| 県内での取組 | 無 | |
| その他 | 無 | |

【再生可能エネルギーの導入】

| | | |
|--------|---|--|
| 県内での取組 | 無 | |
| その他 | 無 | |

【その他特記事項】

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・空調設備の使用電力低減のため、クールビズ運動の継続実施 ・定時時間を考慮したパソコンの自動シャットダウンによるパソコンや照明および空調電力の削減 ・削減目標において、原単位基準を選択した理由は、温室効果ガス排出量と生産金額が密接な関係にあり、売上高に応じて両者は比例して増加することが予想されるためである。 |
|--|